

氏名	Jeremy Jon Brown (ジェレミー ジョン ブラウン)
テーマ	私の夢
教室名	アミカス日本語クラス

日本のアニメーションは、私がのちにデザイナーとなるきっかけとなりました。今でもアニメを見るのが好きで、スタジオジブリの作品が一番好きです。日本のディズニーと言われていますが、他のアニメとはぜんぜん違います。スタジオジブリの映画を見るととても感慨深い気持ちになります。

私はいつも日本の芸術に刺激を受けています。昨年、東京の原宿の美術館で歌川広重の東海道五十三次を見て、浮世絵の作り方がとても面白いと思いました。多色刷りで、何回も何回も重ねて絵を作ります。この過程はグラフィックデザインと同じです。

グラフィックデザイナーとして日本の歴史に興味があります。10年前、日本へ来たことがあります。その時は、本州全土を新幹線やローカル線で1ヶ月旅行しました。それはとても大切な思い出の一つです。あこがれの日本をじかに見て、素晴らしい歴史と文化に触れました。京都と奈良の寺を見た時、私は日本の長い歴史を感じ、日本文化の美しさを知ることが出来ました。これに比べて、オーストラリアでは、歴史的建造物はわずか200年ぐらいの歴史です。もう一つは、私が困った時、助けてくれた親切な人たちのことです。

その後オーストラリアで日本人女性に出会い、人目ぼれでした。それから子どもも生まれました。1年半前に家族とともに、日本にもどって来ました。日本で生活は本当には楽しいですが、時々日本語でのコミュニケーションに苦戦しています。私は本来おしゃべりで、自分に自信を持っていますが、日本語で自分の気持ちを表現するのはとても難しいです。

私の日本語がビジネスの世界でも通じるレベルになったとき、福岡で自分のデザイン事務所を設立するつもりです。私は仲間と考えやアイデアを話し合い、お客さんと話し、一つ一つのプロジェクトをていねいに日本語で説明出来るようになりたいです。

また、いつか私の持っているグラフィックデザインの技術を大学や専門学校で教えたいと考えています。素晴らしい影響を与えてくれた国・日本に恩返しができると思うので、貴重な経験になると思います。

かつては夢にも思わなかったことですが、あこがれていた日本文化に出会い、触れて、私の夢が大きく広がりました。

これが私の夢です。

みなさん、有難うございました。

氏名	DAO THI THANH HUYEN (ダオ ティ タン ヒュエン)
テーマ	毎日のプレゼント
教室名	小さな国際交流の会

皆さん これまでにどんなプレゼントをもらってきましたか。その中で、一番好きなのは何ですか。私が大切に使っている、一番のプレゼントは時間です。ベトナムには時間は金銀だと言われる方がありますが、私はそうとは思いません。時間があつたらお金を稼げますが、お金がいくらあつても時間はつくれません。そのような意味で、時間ほど大事なものはないと思っています。

毎日、24時間は誰にでも平等にあるのですが、その時間を上手に使える人と、そうではない人がいます。私は上手に使わない人だったと思います。

私の修士課程のときに暇な時間、ドラマを見たり、漫画を読んだりしました。期末テストの時は、一日に2、3時間しか寝ないで頑張ったんですが、それでも時間は足りませんでした。反省しても、時間は決して戻りません。本当に残念だったと思います。

それでは、時間という大切なプレゼントについてお話をします。実は、修士課程をおえて、博士課程を迎える大事な時に息子のアリが生まれました。その時、本当に時間の価値が分かりました。アリが生まれて、幸せな気持ちだったのですが、勉強しながらの子育ては本当に大変でした。一番困ったのは去年の9月でした。主人は一時帰国していて、私の博士論文の締め切りがせまっていました。そんな時に、息子のアリはウイルスに感染して、高熱が一週間もつづきました。その時は心細い上に博士論文をまとめる多くの時間もありませんでした。時間通りに論文を出すことができなくて、その時の事情を研究室の先生に訴えました。先生から一日という大事な時間をもらうことができたので、次の日に論文を終わらせることができました。もし厳しい先生だったらとかんがえると、今でもドキドキします。実は、今年の3月に博士課程をおえて、ぶじに博士学位をもらいました。先生もころからよろこんでくださいました。

この場を借りて、私の大好きな言葉を紹介します。“Yesterday is a past, tomorrow is a mystery, today is a gift of God, which is why we call it the present.” いみは、昨日は過去、明日は謎、今日は神様の贈り物です。だから現在はプレゼントだそうです。皆さんも自分を変える計画をたて、頑張つてそのとおりにやっていると、時間は毎日のプレゼントになりますよ。私も大切にそのプレゼントを一生懸命に使おうと思います。

これでスピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。

氏名	賈婉婷 (カエンテイ)
テーマ	大塚さんと私
教室名	さくら日本語教室

こんにちは。カエンテイと申します。中国内モンゴル生まれです。大学で日本語を勉強しました。日本語を勉強しているうちに、日本の文化や日本での生活などに憧れ、やはり日本人ともっと話し、日本の文化に接したいと思い、日本へ行くことにしました。

日本での就職は韓国系免税店に決まりました。ここでは日本語は「いらっしやいませ」しか使いません。日本語で同僚と雑談したら怒られます。仕事終わって、空き時間を利用して、もっと日本人と話すチャンスを作れば良いと思っていましたが、毎日忙しくて、退勤した後、疲れてご飯食べたら、寝てしまいます。買い物、レストランに行っても、日本人と交流するチャンスはありません。

もう日本に来たのは失敗だったなと思って、がっかりしていました。

そんな時、同僚に誘われて「さくら日本語教室」に行きました。

そこで、「大塚さん」という人と出会いました。とても明るくて魅力的な人です。

「大塚さん」の授業はとても実用的で、覚えやすいです。ピザ注文の練習したり、洪水や地震が発生した時、どうやって行動するか勉強したり、自分の人生のプランを立てたりしました。また、櫛田神社や山笠祭りの見物にも、連れて行ってもらいました。

花火大会のために準備した浴衣。ずっと憧れていたのに、着方がわからなくて困りました。そんな時、他の先生からも教えてもらえました。ほんとうにここで勉強してよかったと思いました。

一番印象深いことは、やはり大塚さんの家での同僚の送別会のことです。先生はおいしい和食を準備してくれて、初めて日本人の家で手巻き寿司を食べてわくわくしました。夕食はみんな一緒に中華料理と韓国料理を作って、大塚さんと大塚さんのご主人も一緒に食べて、いろいろしゃべりました。初めて日本人家庭の雰囲気、面白さを感じました。

大塚さんのご主人と就職の話をしていろいろ勉強になりました。それもきっかけで、私は転職しようと思いました。大塚さんは私の仕事の恩人と言っても過言ではありません。転職サイトで気に入った仕事を探して、選考書を出した後、すぐ履歴書と職務経歴書を書いて、大塚さんに見てもらいました。大塚さんは4時間ぐらいかかって一文字も漏れなく、丁寧に修正してくれました。本当に助かりました。面接を受ける前には、私のために、模擬面接を行ってくれました。面接に対する不安も大塚さんと話しているうちに解消しました。そのおかげで、内定をもらうことができました。

あの時、同僚に誘われて、「さくら日本語教室」へ行き、「大塚さん」と出会えて、本当に良かったと思います。「大塚さん」はずっと私を励まし、応援してくれました。皆さん、このような先生、いい先生だと思いませんか。今、私は先生という職業に新しいイメージができました。先生はただ知識を教えるだけじゃなくて、人生の方向を導くことも大事だと気付きました。

大塚さんも外国人に日本語を教える先生になりたいという夢を持っています。私もそうです。同じ夢を持っている大塚さんの努力する姿を見て、私も頑張って追いつきたいと思っています。

将来、私が中国で日本語の先生になって、大塚さんも日本語の先生になって、日本語の教え方について、二人でいろいろと話すことを、夢にみえています。

ご清聴ありがとうございました。

氏名	BERENGER FRANCOIS (ベレンジェ フランソワ)
テーマ	日本の四季と…
教室名	イートン日本語教室

みなさん、おはようございます。

フランソワともうします。フランスのパリからきました。

今年の5月に福岡にきました。私の話はよつつあります。

一つめは、天気のことです。二つめは、てきとみかたのことです。三つめは、食べ物のことです。

四つめは、テレビのことです。

それでは、まずは天気のことです。

福岡しの天気よほうはすごいです。せいみつどが高いです。でも、雨と風もすごいです。強い風のせいで時々雨はよこからふってきます。いつか強い風で私の傘がこわれてしまいました。しかたがないので、そのあと、カッパをかいました。

せいしきには日本は四つのきせつの国です。はる、なつ、あき、ふゆのしきがあるときいています。

でも、つゆはへんな時ですから、しきのかわりに、ごきの国だとおもいます。

つぎにてきとみかたのことです。日本にはてきがあります。それは日本語の漢字です。

フランスではローマ字をつかっていますから、私はみておぼえるのは弱いです。一方で、きいておぼえるのは強いです。

あいにく、日本では漢字がどこでもでできます。さいわいに、みかたもいます。それはふりがなです。むずかしい漢字には、ふりがなをつかってください。

そして、私からおすすめがあります。16かく以上の漢字をきんしにしましょう。たとえば、かおの漢字は18かくの漢字です。おおいです。

今から、食べ物のことをはなします。

フランスでは日本にくらべてメロンとぶどうが安いです。福岡で桃は高いですが、すごくおいしいです。そして、福岡で、レストランは安いです。たとえば500円でひるめしをたべられます。

しかし、パリだと500円ではサンドイッチしかたべられません。

さいごはテレビのことです。

日本ではテレビで映画があまりほうそうされません。かなしいです。でも、料理ばんぐみはたくさんあります。ところが日本人はみんなほそいです。まほうみたいです。

日本のテレビにはCMがいっぱいあります。そしていろいろなばんぐみでじまくがつかわれています。でも、はやすぎてよく読めません。そのじまくは、うたばんぐみのえんかの時だけちょっとよめます。

おわりです。

ごせいちょうありがとうございました。

氏名	LE THANH NAM (レ タン ナム)
テーマ	私のアルバイト
教室名	伊都インターナショナルサークル

みなさん、おはようございます。私は九州大学工学部三年生のナムと申します。今回は自分のアルバイトについて発表したいと思います。私たちは、国際コースに在学しているので、日本語の勉強の機会がとても少ないです。だから、来日したての時は、日本語が苦手だったし、日本文化をあまり知らなかったし、日本の生活は楽しくないと、よく思いました。

私はいつも積極的に自分の生活を改善したいという気持ちを強く持っていました。大学一年から、ベトナム語の先生としてアルバイトしてきました。最初に友達がハーロー先生というウェブサイトを紹介してくれて、アカウントを登録して、ベトナム語の勉強をしたい生徒を探しました。

私はベトナム語はネイティブなので、教えるのは簡単だと思っていました。でも、教えてみるとすごく難しかったです。日本語に比べてベトナム語の発音は複雑で、声調が6つあって、色々な母音や子音があります。さらに、文法が全然違います。でも、ベトナムは元々漢字が使われていた国なので、日本語の漢字の言葉に似ている言葉もたくさんあります。

私は教科書をそのまま使用するだけでなく、各生徒によって教材を作ります。例えば、今、日本で販売されるベトナム語の教科書のほとんどは、ベトナム語の北部方言に基づいて作られています。だけど、南部方言を勉強したいと言う人もたくさんいます。だから、自分で教科書の言葉を整理していました。私は南部と北部のベトナム語が両方できるので、教科書に付いているCDを使わないで、自分で発音して教えました。

生徒たちとのコミュニケーションを通して、自分の日本語能力を改善することができました。日本人や日本社会の特徴をちゃんと知ることもできました。それに、生徒の旅行や出張に役に立つことは私の幸せです。以前、旅行のためのベトナム語講座を勉強し終わった二人の生徒が、ベトナムの中部にあるホイアンという古い町に楽しく旅行できたと言いました。その二人には、私が挨拶とか値段の下げ方とか、旅行のためのベトナム語を教えてあげました。その二人が日本に帰って来て、先生のお陰で楽しく旅行ができて、困ったりしなかったと言ったので、私は本当に嬉しく思いました。

私のアルバイトの話でした。有難うございました。

氏名	蔡 旻 蓁 (サイ ミンシン)
テーマ	日本人の人情味
教室名	ようこそ日本語教室

皆さん、こんにちは。私は台湾の台南市から参りました蔡旻蓁と申します。本日は、「日本人の人情味」についてスピーチさせていただきます。よろしく、お願いいたします。

辞書によると「人情味」とは、人間らしい心の温かみです。ただ、私が考える「人情」とは、辞書の意味とは少し違って、ゆかりや血縁などに関係なく、心の底から純粋に他人や社会に思いやりを持ち、見返りを期待しない愛情です。そして、「人情味」とは、そういう「人情」があふれる日本の文化だと思っています。

今、福岡に住んでいる外国人の私は、よく日本人に助けられています。例えば、道に迷った時に、日本人は道を教えてくれるだけではなく、私をわざわざ目的地まで連れて行ってくれました。また、博多祇園山笠を行う時期に山笠を曳くお兄さん達や、その手伝いをしているお婆さんから、私はお祭りのいろいろなことを教わり、山笠の当日も見に連れて行ってくれました。

私は今までに、このようなことを数多く体験致しました。それらは、全て日本人の「人情」だと思っています。しかし、こういう話をしたら、よく返ってくる言葉があります。例えば「あらら！それは、あなたが外国人だけんよ！」「日本人が外国に行っても、その国の人も同じことをするとよ！」とか。

そこで、日本で暮らし始めた頃に私が日本で一番驚いたことをお話します。日本で、高級なレストランでも、普通のラーメン屋さんでも、お客さんは、店を出る時に、絶対店員さんに「ご馳走さまでした！」と言います。そして、店員さんは、お客さんが店から出る際に、「有難うございました！」と言いますよね。皆さん、この行為はどう思いますか？たぶん、大抵の日本人にとって、これは、普通にありふれた行為です！

でも、私に言わせれば、それは人情味溢れる行為だと思っています。なぜなら、法律的に考えてみると元々、お客さんと店員さんの関係は、ただの契約関係です。売買契約によって、店員さんが注文された食べ物の所有権をお客さんに移転し、買うお客さんが該当のお金を店員さんにあげるわけですから。

つまり、「ご馳走様でした！」、「有難うございました！」を言わなくても、全然構わないじゃないですか？ただ、こういう言葉を使えば、この売り手と買い手の間に、法律上の契約関係に加えて、感謝の気持ちも芽生えさせ、愛情さえも発生していきます。外国人の私には、こんな優しさこそ日本人の人情味だと思っています。

現在、21世紀の競争社会に、人間関係は冷たくなつたと考えられていますが、日本ではまだこういう温かい、人情味のある文化が残っています。

これは外国人に日本人のお！も！て！な！し！の心を理解してもらうだけではなく、日本人社会の中でも、人と人の繋がりには、とても役に立つものだと思います！

だから、皆さん！是非、是非、こういう日本人の人情味を、これからもずっと守ってください。以上でございます。

ご清聴、有難うございました。

氏名	Desy Rhobiatul Adhawiyah (デーシー ロビアトウル アダウィヤ)
テーマ	Halal food in Fukuoka (福岡のハラルフード・ムスリムとして)
教室名	福岡国際育英会日本語教室

私の名前はデシです。インドネシアから来て、一年半ぐらい住んでいます。

福岡に住んで、日本のことが大好きです。ときどきさびしいですけど、大丈夫です。日本人はやさしいし、町なみはきれいだし、とてもいいかんじです、食べ物もおいしいです。日本の料理は大好きです。そのシンプルさとしんせんさが気に入っています。そのおいしい料理のれいとして、てんぷらや、すしや、めんるいなどがあります。でも、日本料理はぜんぶ食べられるわけではありません。なぜなら私はムスリムだからです。どんなにおいしそうに見えても、材料やだしに何を使っているかわからないようにしています。あの全国的にもゆうめいな博多ラーメンは食べられません。ざんねんですね。食べ物にはずいぶん気を付けます。そのことについてお話ししたいと思います。

ムスリムには食べ物のことでスペシャル用語があります。それはハラルです。みなさんはわかりますか？わかりやすく言えば、ハラルの食べ物は豚肉とアルコールがぜったいだめです。ハラルフードのきまりはけんこうにとってもっとも重要なのです。豚肉とアルコール以外はだいたいいいです。たとえばとり肉と牛肉とマトンとさかなに関しては大丈夫です。さかなはぜんぶもんだいありません。肉のなかでも馬肉やくまの肉や小鳥などは食べられません。さかなはどこで買ってもいいですが、とり肉と牛肉とマトンはハラルストアだけにかぎります。日本の料理はさかなが多いですから、あんしんして食べられます。ただしみりんが入っていたらだめです。もちろん料理酒は論外です。ですから、レストランでは、いつもアレルギーのリストをもらいます。

買い物もいつもこまかく材料をチェックします。省くものは豚肉とアルコールだけじゃないのです。動物のオイルをつかっているにゆうかざいとかがマーガリンとかバターとかショートニングはだめです。よく見えるパンもその材料のためにときどきだめです。さいしょはいろいろ大変でした。漢字で書いてあるのがわからなくてこまりました。でも今はもう大丈夫です。さいわいなことに大学のコンビニにハラルのものがあります。わたしの主人も大学でハラルのラベルのものをえらべてよかったです。そのラベルはくべつできます。

よく食べる肉は九大伊都キャンパスのすぐそばのハラルストアで買います。また、箱崎ハラルストアや、業務スーパーや、くまもとオンラインショップなどでも買います。

でも、ハラルの肉はぜんぶ冷凍なのがとてもざんねんです。自国ではなま肉でおいしかったのです。

みなさまハラルフードについておわかりいただけたでしょうか？そうだったらとてもうれしいです。

ごせいちょうありがとうございます。

氏名	NGUYEN THI HOAI LINH (グエン ティ ホアイ リン)
テーマ	日本の「どこでもドア」
教室名	高取日本語教室
<p>皆さん、こんにちは、ベトナムのリンと申します。 今日は皆さんに 私の夢を お話したいと思います。 皆さんは ドラえもんを ご存知ですか？ 私は中学1年生の時に 読み始めて、夢中になりました。 ドラえ蒙の秘密道具の中で、一番好きなものは『どこでもドア』です。 ドラえもんを通して、日本について色々なことを 知るようになりました。 その中で一番驚いたのは 戦後、日本が貧乏だったのに 20年余りで、世界第2位の経済大国になったことです。 どのようにして 日本は そんな信じられないような事が できたのでしょうか？ ベトナムは 日本から何が 学べるのでしょうか？ つまり、経済発展のための『どこでもドア』は 何でしょうか。 その答えを 見つけることが 私の夢になり、日本に来ることに になりました。</p> <p>その時 一歳の息子を連れて、大阪大学に入学しました。 日本に着いた 5日後に 東日本大震災が 起きました。両親や友人達が「早く帰ってくるように」と 毎日連絡をして来ました。 それで、私達は とても心配になりました。 ある日、友達からのメールに こんな話がありました。 東日本大震災後、福島県では 皆食べ物の配給に 長〜い列を作って 待っていました。 ベトナムの人が そこへ 手伝いに 行きました。 行列の最後に 9歳ぐらいの 男の子が 並んでいました。 お腹を空かせて いるようでした。 ベトナム人は 自分の食べ物を出して、男の子に あげました。 男の子は 丁寧にお辞儀をして、「ありがとうございました」と 言いました。 そして、もらった物を 食べずに 配る箱に入れて、元の列に 戻ってきました。 驚いたベトナム人は「どうして食べないの？ お腹がすいているんじゃないの？」と聞きました。 男の子は こう答えました。「皆さんは 僕よりおなかがすいているので、僕の分も配って下さい」。 その答えを 聞いたとたん、ベトナム人は 涙が出ました。</p> <p>私は その感動的な話を 聞いて、日本に残ることを 決めました。 私はずいに「どこでもドア」を見つけました。 それは 日本の教育だと 確信しました。 子供の時からの 様々な教育 こそが 今の 豊かな日本を 造り上げた 原動力 だと思います。 その中の一つは 地震等の災害時でも 他人への 思いやりを持って ルールを 守ることです。</p> <p>今、日本の教育を 受けて 7歳になった息子と 私は 共通の夢を 持っています。 それは、日本語と ベトナム語の 通訳を 通して 両国の 友好に 役立つことです。 ご清聴ありがとうございました、</p>	

氏名	高木 ラビンドラ 友郎 (タカキ ラビンドラ トモロウ)
テーマ	ターバンとちょんまげ
教室名	にほんご教室フレンド

ナマスカール、みなさんこんにちは。

私のなまえは、高木・ラビンドラ・友郎です。

インド生まれのインド育ちの22さい。

きょねんの12月、日本人の母のふるさと、福岡にやってきました。

今日は、日本文化とインド文化のはざままで私が「これはおもしろいな」と感じたことをお話しします。

まず、食べ物の話。

日本人は私によくしつもんします。「インドでは1日3食カレーを食べるのですか？」

「いや！いつもカレーばかり食べるとうんざりしますよ…。」

じつは、インドのともだちからのしつもんには困ることがあります。ある日でんわで、Aくんから「きょうは何を食べた？」ときかれました。お昼にラーメンを食べたので「ヌードルだよ」と答えました。

また、別の日にAくんから「きょうは何を食べた？」ときかれ、その日はおじいちゃんとうどんやさんへ行ったので「ヌードルだよ」と答えました。

「えっ、またヌードル、いつもヌードル？」Aくんはおどろきます。

インドにはいっぱいてきなめんりょうりは「チョーミン」とよばれるやきそばしかありません。

日本のめんるいが好きで、いろいろなめんりょうりをよく食べます。Aくんは「いつもヌードルで、よくあきないなあ」と思っているようです。日本人はAくんこそ、いつもカレーであきないと思うでしょう。

日本にいる時はスプーンを使いカレーライスを食べます。インドに帰ると手でカレーを口に入れます。とっても暑いときは冷めてから食べればいいんです。

それから、インド人はターバンをまいていると思っていませんか？テレビでよくみるターバンをまいている人はほんの少しのシークきょうとだけです。私も、私の父も、しんせきの人もターバンはまきません。

ところで、日本にはちょんまげでせいかつしている人がいるとおもっているインド人もいます。

ちょんまげでせいかつしている人はよこづな「ハクホウ関」などのおすもうさんのせかいくらいですよ

日本はせんたんテクノロジーの国です。もし、エンジニアがちょんまげすがたでトヨタの車にのるところをみかけたら…。私はびっくりしてけいたい写真をとりつづけます。

日本文化とインド文化のちがいにおどろきました。

これからも日本のしゅうかん、考え方を学んで日本のしゃかいにとけこんで行きたいです。

みなさん、私の話をきいていただきありがとうございました。

氏名	周 怡 茹 (シュウ イル)
テーマ	夢に向かって
教室名	えふえいち日本語教室

皆さん、こんにちは。私は、周怡茹と申します。中国の大連から、来ました。私のスピーチのテーマは、私の夢です。私の夢は、音楽の先生になることです。

私の家族は、両親と妹の4人家族です。妹は、私と違ってダンスが好きです。今10歳で、ダンスを習っています。私は、4歳から歌を勉強しました。幼稚園の時、私は、先生の前で初めて歌を歌ったら「イーちゃん、声がいいね。」と、言われました。とても、嬉しくて、母に報告しました。そして、母が音楽の先生を探し、習いに行くようになりました。

私の歌の先生は、小学校の音楽の張先生でした。毎週、美しい曲を教えてくださいました。私は、張先生が一番好きでした。張先生は、声が綺麗で歌が上手でした。教え方も上手ですから、レッスンはとても楽しかったです。一週間で、一番楽しみにしている時間は、張先生のレッスンでした。習っているみんなは張先生に憧れました。その時、「張先生のような歌の先生になりたい。」と思いました。将来、たくさんの生徒に音楽を教えたいと思いました。

その後、夢を叶えるために、音楽の専門高校に入学しました。音楽の先生になるために、まず、ピアノが弾けなければなりません。だから毎日学校でピアノを弾きました。歌ったり、ピアノを練習したりしているうちに少しずつ進歩して行きました。学校で音楽が好きな友達とたくさん知り合って、毎日の生活は楽しかったです。私の一番好きな声楽家はイタリアのパトリです。彼女のたくさんの曲を私は歌えます。良く友達と好きな音楽家について討論しました。

2016年、音楽専門学校を卒業して、福岡に来ました。両親は、神戸に留学した経験から、私を日本に留学させたい、と思いました。そこで、中国で、3か月日本語を勉強した後、日本語学校に入学しました。熊本に叔母も住んでいるし、福岡はいいところなので決めました。毎日の勉強生活は忙しいですが、面白いです。音楽の勉強を続けるために、ピアノを買ったり、声楽とピアノの先生を探して毎週2回レッスンに通っています。そして、たくさんの友達に出会えてよかったです。

私は、武蔵野音楽大学か国立音楽大学の声楽科に入るために、今、試験の準備をしています。大学を卒業したら、日本で声楽を教えたいです。そのために、今頑張っています。今年の7月に日本語能力試験を受けました。毎週、学校とピアノと声楽と日本語教室とで忙しいですが、生活が充実しています。これから、たくさんの困難があると思いますが、私は、絶対、音楽の先生になる、と決めて、私は、夢の実現に向かって頑張ります。

これで私のスピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。

氏名	NGUYEN THI NHU HUYEN (グエン ティ ヌー フェン)
テーマ	忍
教室名	日本語を学ぶ会

こんにちは、ベトナムから来たフェンと申します。よろしくお願ひします。

今日、お話ししたいテーマは「忍」です。「忍耐」の「忍」です。

今日ここに出席している皆さんは、困難で人生を途中でやめたくなくなったことがありますか。それでもどうにかして、自分の限界を越えて、生き続けていくことが「忍」だと思います。

私は、3年ほど前、日本に来て今の会社に勤めることになりました。最初のころは、日本の生活はベトナムより便利なのに、とても退屈で面白くないと感じました。なぜなら、誰とも話せなくて、家族や友達なども近くにいないくて、いつも一人だったからです。

入社した最初の日、会社のみんなは自分の仕事しか見ていなくて、ほとんど誰も私に話しかけてくれませんでした。なので日本語で話すことはあまりありませんでした。また、話しはじめても、緊張したり、イライラして、まったく同僚が言ったことが聞こえなくて、話せませんでした。毎日日本語を勉強していたのに、なかなか上手になりませんでした。私にはどうやったら、自分の日本語が改善できるのか分かりませんでした。そう思うと、日本語がいやで、諦めて、帰国したくなりました。

ある日、会社の宴会で私はみんなの前で発表をしなければいけなくなりました。何を話したらいいか分からないので、どきどきして、話せなくて、まわりの雰囲気は突然静かになりました。すると社長は私が話せないと思って、他のベトナム人の同僚に通訳してくれるように頼みました。私はとても恥かしくて、自分がばかになったように感じました。同僚にけなされたり、差別されたりしたくありません。私はなんとしても日本語が上手にならないといけなかったと思います。

ベトナムには「鉄の棒を研ぐ努力をすれば、いつかその棒は針になる」ということわざがあります。このことわざのとおり、もっと頑張れば、自分の日本語はもっと上達するはずだと思いました。それからは、誰かに話しかけられることを待つのではなく、自分から誰かに話しかけるようにしました。日本人は外見は厳しくて冷たく見えますが、とても親切で思いやりがある人たちです。最初は、お互い相手の言ったことが分からなくても、我慢強く聞いて、分かるまで熱心に何回も説明しあうようになりました。そうすると、だんだん日本語がわかり、話せるようになってきました。

これまで、会社の日本人の同僚には、日本の生活と仕事に関する知識をいろいろと教えてもらいました。さらに外国人の友達もできました。日本で過ごすに従って、この暮らしと人々と日本語も好きになってきました。

そして、今、最高の経験は、ここにこうして立って勉強できないと思っていた言語で自分の経験が発表できていることです。

皆さん、もし暮らしがいやになっても、諦めたり、仕事を辞めたりしないでください。困難はただ一時ですが、あなたが忍耐でのり超えたら、必ず成功は目の前にあります。それが、今日、私が皆さんに伝えたかったことです。

ご静聴ありがとうございました。

氏名	中村 ボンジェリン (ナカムラ ボンジェリン)
テーマ	私の大好きな夫
教室名	外国人のための日本語教室

おはようございます。私の名前は中村ボンジェリンです。フィリピンで生まれて、21歳までそこで育ちました。日本に来たのは7年前の2010年5月です。それから3年間三重県で研修生でした。

2年目に同じ工場の中で初めて夫に出会いました。あった瞬間一瞬で恋に落ちました、私のアタックが成功して付け合うようになりました。一年間付き合ってから結婚しました。主人が日本人、私がフィリピン人。日本語がメインで会話するんですが、やはり日本語が難しいです。

少し前のことですが、日本語教室の友達がせめてということばの意味がわかりませんでした。私はわかりましたが、説明ができなかったので、夫のできごとを例にして話しました。

私の夫は食べた後「ごちそうさま！」だけで動こうとしません。私が「せめて食器を洗う所まで持って行ってよ」と言っても、夫は「できない、できない」。「うそですよ！手と足があるんですよ」友達は夫の例でせめての意味がわかりましたが、友達のご主人はよく手伝う人でした。

さて、みなさん、つった魚に餌をやらないと言うかんようくをごぞんじですね。このかんようくについて夫を例にして話してみようと思います。

例えば仕事が休みの日に「ね！どこか行きましょうよ！」と行っても、夫は「からだがつい」とか言ってどこにも行こうとしません。たぶん私がつった魚なので、夫が餌をやらないつもりなのですね。

ところが、夫は「おれが魚！」。それにしても、ひどいですよね、みなさん。

でも、多分夫がとっても上手に私に甘えているのかもしれない。仕事が休みのときは一緒にいたいんです。そして私の作る食べ物を「おいしい、おいしい、ボンの作る食べ物はどこで食べるよりも一番だよ！」と言って、にこにこしながら食べています。そんな夫が、正直な子供のようにとっても可愛いくて大好き♥️です！これからも仲良く楽しい生活が続くことが願っています。

夫の両親も二人を応援してくれています。実は今日の洋服は夫の母が買ってくれたものです。

今日はみなさん聞いてくださってありがとうございました。

氏名	K.H DIRAJ SANDARUWAN (ディラジ サンドルワン)
テーマ	人生
学校名	春暉国際学院

皆さん、こんにちは。私はディラジサンドルワンと申します。去年の10月にスリランカから来ました。約一年日本語を勉強して、すこし話せるようになりました。私は、まだ19才で、人生の経験が短いですから、皆さんの前で人生について、話をするのは、ちょっと恥ずかしいですが、今の私の考えを聞いてください。

私は日本へ来て、半年ぐらい経って、病院でアルバイトを始めました。介護の仕事に興味を持ったからです。そこで、いろいろなお年寄りと話ことができました。若い時の楽しかったこと、大変だったこと、頑張ったことなど、おじいさんやおばあさん達は昔の話をするのがほんとに好きですね。ほとんどの日本のおじいさんは、家族を犠牲にしてよく頑張ったと誇らしげに話します。あるおばあさんは、子供のために、自分が買いたいものも我慢して頑張ったと話します。あとは、お金の話が多いです。お金がもっとたくさんあったらよかったなーとか、年金では生活が苦しいねーとか、よく聞きます。こういう話を聞くと、私はちょっと違和感を持ちます。どうしてでしょうか。スリランカ人だからでしょうか。

また、日本の若い人は、ケータイや、ファッションや、ゲームが好きで、高価な物をたくさん持っています。新しいケータイが売り出されると、まだ使えるケータイがあるのに、徹夜で並んで新しい物を買うひとがたくさんいるそうです。これもかなり違和感があります。やっぱりスリランカ人だからでしょうか。

どうして違和感があるのか考えてみると、スリランカ人と日本人は、人生の時間の使い方が違うからじゃないかと思いました。スリランカ人は、若い時、目標や目的をはっきり持つように親や先生に言われます。そして、自分の将来の計画を立て、限られた時間を無駄にしないようにします。たいていの若者の目標は、自分の家族のような幸せな家族を作ることです。自分に合った仕事を少しがんばって、ちょうどいい相手と結婚して、子供を作って、家族で楽しく生活することです。他の人よりいい生活をしようとか、いい車を買いたいとか、いい物を持ちたいとか、あまり思いません。年を取ると、自分の時間をできるだけ家族といっしょに使いたいと思う人が多いです。家族で住めば、お金もかからないし、お金がなくても幸せになれると信じているからです。

皆さんは、お金がたくさんないと、やっぱり心配ですか。私はまだ19才なので、人生がよくわかっていないのかもしれませんが、でも、私は、お金がたくさんなくても幸せな生活ができると思います。自分の人生の意味や価値がちゃんとわかっているらば、お金のことで悩んだり、不満を言ったりしなくてもいいのではないのでしょうか。

日本に来て、介護の仕事の大切さを知りました。ほんとにいい仕事だと思っています。これから、私の人生の時間を介護の仕事に使いたいと思っています。あと何十年生きられるかわかりませんが、これからも自分の人生の時間を大切に生きていこうと思っています。

ご静聴ありがとうございました。

氏名	RENANDINI DANISTHA BUDHI (レナンディニ ダニスタ ブディ)
テーマ	日本のユニークさ
学校名	愛和外語学院

みなさん、こんにちは。

私はレナと申します。インドネシアから今年の4月、日本に参りました。日本に6か月くらい住んでいますが、ユニークなことといつも会います。

世界中で、日本はユニークなことで知られています。グーグルで英語で「Japan」と「unique」を調べると、たくさん結果が出ますよ。例えば、日本の文化とか、様々な季節の祭りとか、ゆるキャラとか、ポップカルチャー、まんがやアニメなどです。

たくさんある中で、私自身経験したユニークなことがあります。一番ユニークなことは言葉だと思います。ある日本の言葉はそれ自体に意味があります。例えば、「親子丼」と「薬指」です。

まずは、「親子丼」。親子丼というのは鶏肉と卵のどんぶりですね。鶏肉と卵はどんな関係ですか。卵は鶏の子供です。ですから、「親子丼」です。私の国にはそういう料理の名前がありませんからユニークだと思います。

次は「薬指です」。「薬指」はこれですね。これは親指です。お父さんお母さんみたいですから親指です。これは人差し指。人を指すときにこの指を使いますから、人差し指です。中指です。真ん中ですから中指です。そして小指です。一番小さい指ですから、小指です。でも、これはどうして薬指ですか。

私の国で日本語を勉強したとき、薬学を勉強していた日本語の先生と私は、様々な旧来の薬について相談していました。そこで、先生にこの指の名前を教えてくださいました。私は、「これ、薬指！？え、なぜ薬指？」と思いました。昔、日本人は薬を付けるときにこの指を使ったそうです。では、どうして昔この指を使いましたか。薬指は一番きれいな指だったそうです。どうしてきれいですか。日常生活であまり使わない指だからだそうです。みなさんは知っていましたか。日本人の名前の付け方はとてもユニークですね。

その日本のユニークさ、その言葉の語源を調べて日本人と話すと、知らない人が多いです。「え。日本人でも知らないの？」と思っていました。しかし、実はインドネシアにもたくさんユニークなところがありますが、私、インドネシア人として、そのユニークさに気づいてないかもしれません。そういう風に思いました。

ふだん、自分にとってあたりまえの小さなことも、他の人から、それはあたりまえじゃないと教えてもらうことがあります。私は日本を通じてインドネシアのユニークさを教えてくださいました。

国によって、人によって、ユニークさは違います。それぞれによさがあります。皆さんもそのことを忘れないでください。

私は将来、国へ帰ってインドネシアの個性を活かしながら新しいことをしたい、新しいものを作りたいです。そのために、日本のユニークなアイデアの考え方を日本で学びたいと思っています。その夢のために、一生懸命がんばります！

ご清聴ありがとうございました。

氏名	熊 亚 芳 (ユウ アホウ)
テーマ	私と日本語
学校名	九州英数学館国際言学院

皆さん、こんにちは。 本日、私のスピーチのテーマは「私と日本語」です。

皆さんにとって日本語はどんな存在でしょうか。どうして日本に来て、日本語を学んでいますか。大学や大学院などに進学するためだけですか。

私にとって、日本語との出会いは人生で最も美しい出会いでした。

大学で日本語を習った4年間、楽しかったです。日本語だけでなく日本人の生活、日本の文化、習慣についても教えてもらいました。先生たちのおかげで私は日本の相撲、茶道、着物、日本料理などがわかるようになりました。

大学を卒業してから、日本語の通訳として働きましたが、最初、専門用語どころか、日本人の日常会話さえわかりませんでした。通訳の先輩が「もしわからない言葉があったら、自分が知っている他の言い方に変換してもいい」と教えてくれましたが、なかなか難しくできませんでした。仕事を通して、自分の足りないところがわかりましたから、もう一度学生になって、日本で勉強を続けたいと思いました。

大学時代に教えてもらったことを実際に体験し、日本のことをもっと深く知りたいと思いました。

日本に来て、2か月目に、日本のコンビニでアルバイトを始めました。最初は、たばこの名前やコーヒーの入れ方など全然わかりませんでした。オーナーにレジに立つように言われました。不安を抱えながらレジに立ちましたが、わからないことが多くて失敗も多かったです。その時、助けてくれたのが職場の仲間でした。店で私以外はみんな日本人ですが、仕事のときにもプライベートの時間にも親切に接してくれるし、冗談を言い合ったりもできるので、恵まれていると思います。

今、もう半年が経ちましたから仕事にも慣れました。店へ来るお客様に日本語が上手ですねと言われる度に、自分自身の成長が実感できます。いくら疲れていても、笑顔で接客できるのは、お客様が私の笑顔を待っていると信じているからです。

日本語のおかげで、いろいろな日本人や日本の文化に出会えました。中国にいた時は知っているだけだった能楽、生け花、茶道、人形の絵付けなどの伝統文化も実際に体験することができました。これもすべて日本へ来なかったらできなかったことです。

日本に来て、私の世界は豊かになりました。

日本語は私にとって、ただの趣味ではなく、未来の方向を示すものです。

これからも日本語にずっと関わっていこうと思っています。中国に帰っても、周りの知り合いには少しでも日本のことを知ってもらえるように私の経験を伝えていきたいと考えています。日本に興味がある人には、日本のことをもっと理解してもらいたいし、日本に興味がない人にも、せめて日本のことが嫌いにならないように伝えていこうと思います。

皆さん、私のスピーチはこれで終わります。ご清聴ありがとうございました。

氏名	BUI NGUYEN TU ANH (ブイ グエン トゥ アイン)
テーマ	私の自信
学校名	GAG 日本語学院

みなさんは自分に自信がありますか。「あります！」と言える人はなかなかいないと思います。私も特に子どものころは全然自信がありませんでした。しかし、自信がどんなに大切か、今までの体験で気づくことができました。それで、今日みなさんにお話ししたいのは私の自信についてです。

子どもの頃、私は、間違えることがとても心配でした。学校生活の7年間、友達は一人もいませんでした。この頃、写真をとることも嫌いでした。なぜなら、自分がみにくいと思っていたからです。また、学校でいじめられても何も言えませんでした。勉強に問題があっても先生に聞けず、それで成績はだんだん悪くなりました。そして、高校の入学試験に失敗してしまいました。その時、すべてが終わったと思いました。

そこで、私は、こんな生活が続くと、将来どんな人になるかと自問しました。

「夢は何？」

実は私にも夢がたくさんあったのです。その夢を実現しなければ、いつまでも他人の夢の実現ばかり見ることになります。それはいやだと思いました。そのために、自分で自信を作っていくことに決めました。本当に小さいことから始めました。

まず、文学の授業のたびに、一番に手を上げて、大きい声で音読しました。次に、美術の授業の時、友達一人ずつに、絵をかくてあげました。すると、友達が私の絵に点数をつけて、その点数によってお金をくれました。一回 1000 円もらったこともあります。それから、私に興味をもってもらって、友達もどんどん作れました。一つ成功するたびに、少しずつ自分に自信が持てるようになりました。こうして、自分に自信が持てるようになったら、様々なチャンスが巡って来ました。

例えば、ある日、ぐうぜん、大きい会社の会長と知り合いました。その会長は、私の自信が好きだと言って、私にたくさん仕事をくれました。さらに、多くの人と一緒にプロジェクトをおこなって、そして、色々な経験をすることができました。

今、日本に住むことは大変ですが、いつも自信を持っていれば、生活しやすくなります。日本語も、自由に文を作って、間違えたら、ミスを直してもらえます。

つまり、時間がかかりましたが、今、自信が持てるようになって嬉しいです。今の私の一番の夢は会社の経営者になることです。簡単ではありませんが、自分を信じて前へ進むつもりです。

自信は、自分の考えから来ます。自分の考えを少し変えるだけで人生が変わるのです。

ご清聴、ありがとうございました。

氏名	GAUTAM SOM PRASAD (ガウタム ソム プラサド)
テーマ	道
学校名	福岡国土建設専門学校

私の母国、ネパールは天然資源のとても豊かな国です。米や野菜をはじめ、フルーツ、薬草など、生活にかかせないものが豊富にとれます。けれども、それらを運搬する流通ができていません。それが、ネパールが一番の問題です。道路がないので、おいしいフルーツはくさってしまい、高価なお茶や薬草も輸出することができません。車やバスが通れる道路がないから、住民の生活はとても大変です。何か食べ物を買うために、1時間以上も歩いて買い物に行かなければなりません。とても時間がかかるので、働く時間がなくなってしまいます。また、近くに学校がないので、子どもたちは遠くの学校に通わなければなりません。毎日通うのは大変ですから、1週間に2、3日しか勉強しません。これらの現状は、ネパールの発展が遅れている原因になっています。私が子どものとき、近所に日本人が作った学校がありました。その建物はとても立派で、設備もととのっていました。でも何より、その学校の教育がすばらしかったです。そこでは、学生は遅刻も欠席もしないし、ちゃんと時間やルールを守ります。他の学校とは、全然違います。私は、その学校に進学することも考えましたが、日本に留学して、直接日本の文化を学ぶことを選びました。学校だけでなく、生活を通じて日本の習慣を知りたいと思ったからです。留学が決まったとき、私は、心の中で、ネパールと日本の間に道ができたように感じました。そしてその道を通って、日本に来ることができました。初めて日本の道路を見たとき、私はびっくりしました。日本の道路はなめらかで、車がゆれることもありません。もし日本のような道路がネパールにも増えたら、食料も楽に運ぶことができるし、人々もいろいろなことに積極的になれると思います。また、日本はインフラがしっかりした国だということもわかりました。何かを作るためには、道や線路を先に計画して建設する、この考えが今のネパールにはありません。ネパールが日本と同じように発展できたら、世界とつながって、コミュニケーションをとることができます。コミュニケーションがとれたら、外国人がたくさんネパールに来て、ネパールの文化や天然資源について知ってもらうことができます。ここにも新しい道ができるのです。私は日本語学校で勉強したあと、測量の勉強をして、その経験をネパールに持って帰ります。そして、ネパールで、子どもたちのためにすばらしい学校を作りたいです。なぜなら、学校を作るということは、子どもたちの未来も作るということがわかったからです。そこでは、日本の子どもたちと同じように、時間や約束をしっかり守って、勉強させてあげたいです。開発されていないところに、学校や道路を作ることはとても大変です。でも、ネパールの未来を願う気持ちは、私を強くしてくれましたから、絶対あきらめません。問題があっても、一つ一つ解決していったら、必ず成功できると思います。最後になりますが、私の心の中の道は、決して平らではありません。これからも、複雑で険しい道があると思いますが、自分の将来だけでなく、国や社会のために一生懸命働いて、貢献したいと思います。私のスピーチは以上です。ご清聴ありがとうございました。

氏名	CHOWDHURY WAHIDA SAKURA (チョウドリ ワヒダ サクラ)
テーマ	聖なる水
学校名	アジア日本語学院

皆さんこんにちは。

わたしはバングラデシュ出身のサクラと申します。

今日は聖なる水について話したいと思います。

聖なる水とは何でしょうか。

聖なる水とは宗教関係で使われる水のことです。例えば、イスラム教なら、サウジアラビアのメッカにあるザムザムという昔からある井戸の水です。これは神様からの水だといわれています。この水は体にとっても良くて、病気が治るそうです。また、死ぬ前にみんなこの水を飲んで死にたいと思っています。

ヒンズー教だったら、インドにあるガンジス川の水が聖なる水です。病気になったら、ガンジス川で体を洗ったり、その川の水を飲んだりすると、元気になるそうです。

キリスト教にも聖なる水があるそうです。子どもが生まれたら、教会に行って、悪魔から守るために聖なる水で頭を洗う習慣があります。

他にもいろいろな宗教で聖なる水が使われています。

私は、福岡に来てすぐのころ、いろんなところを散歩していました。ある日、たくさんの人が自動販売機の前にボトルを持って、並んでいるのを見ました。

その販売機には「生まれる」と「水」の漢字が書いてありましたが、それだけでは何もわかりませんでした。日本は、水道水が飲めると知っていたので、この水は日本だけの聖なる水に違いはないと思いました。

その水で子どもを悪魔から守るために体を洗ったり、亡くなった人をきれいにするために使ったりするのかなと思いました。そのときは、日本語も日本のこともわからなかったし、母国にはこんな水の販売機もないので、わかりませんでした。

そこで売っていた水は1リットル10円だったので、わたしも買ってみました。そして、試験の前日、頭にかけて、飲んだりしてみました。

日本にもこんな文化があるんだとずっと思っていました。しかし、ある日機会があって、日本人にその水について聞いてみたら、それは「生まれたての水」ということでした。調べてみると、その販売機は、福岡県内に何か所かあることがわかりました。もちろん神聖な水ではなく、人々が生活するのに使う水だったのです。私はその水を頭にかけていたのです。そんなことをしても、100点がとれるわけがないと、大声で笑ってしまいました。

世の中にはまだまだ知らないことがたくさんあるし、日々学ぶことがたくさんあると感じました。みなさんも、自分の常識にとらわれなくて、町を歩いてみませんか。きっと新しい発見があると思いますよ。

ご清聴ありがとうございました。